

グレートアース新聞

第25号

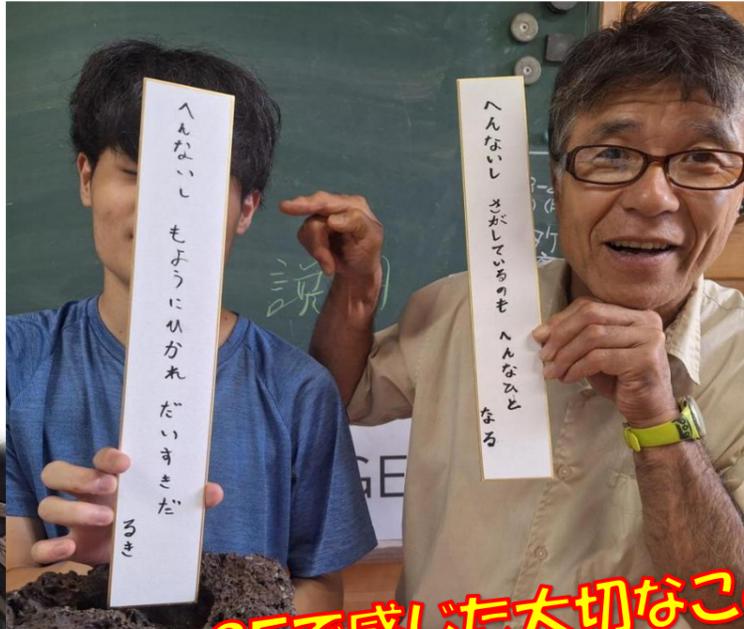
大切な思いを川柳にのせて…

9月、黄柳野高校では学園祭があります。学園祭では学びの発表を行います。それを機にこの時期は上半期の学びのまとめもします。そこで大切にしているのは自らの思い。自然の中で思い切り遊び、命と出会い、感じる経験をしてきた彼らの心には様々な思いが巡っていると思います。この期間はその思いを巡らせて、自分の中で何が大切か…と考え、改めて気づけるキッカケを持てるようにしています。その取り組みをすることで、彼らは自らの思いと向き合い、実体験から感じたことを反芻し、本当に大切なことを見つけていけるように思います。今回はその取り組みと彼らの思いを報告したいと思います。

まずは5つのグループに分かれて、グループ毎に「川柳」などを作りました。グループはテーマ毎です。「グレートアース」といえば…というお題から皆が思い浮かべるグレートアースを語ってもらい、5つのテーマが誕生しました。

- ・食
- ・思い(過去)
- ・思い(未来)
- ・自然
- ・変人会

という5つです。グレートアースの活動をしていて、大切ななと思ったことがテーマとなり、各々が自分が語りたいチームに属して川柳などを作りました。このページではその内容を報告します。



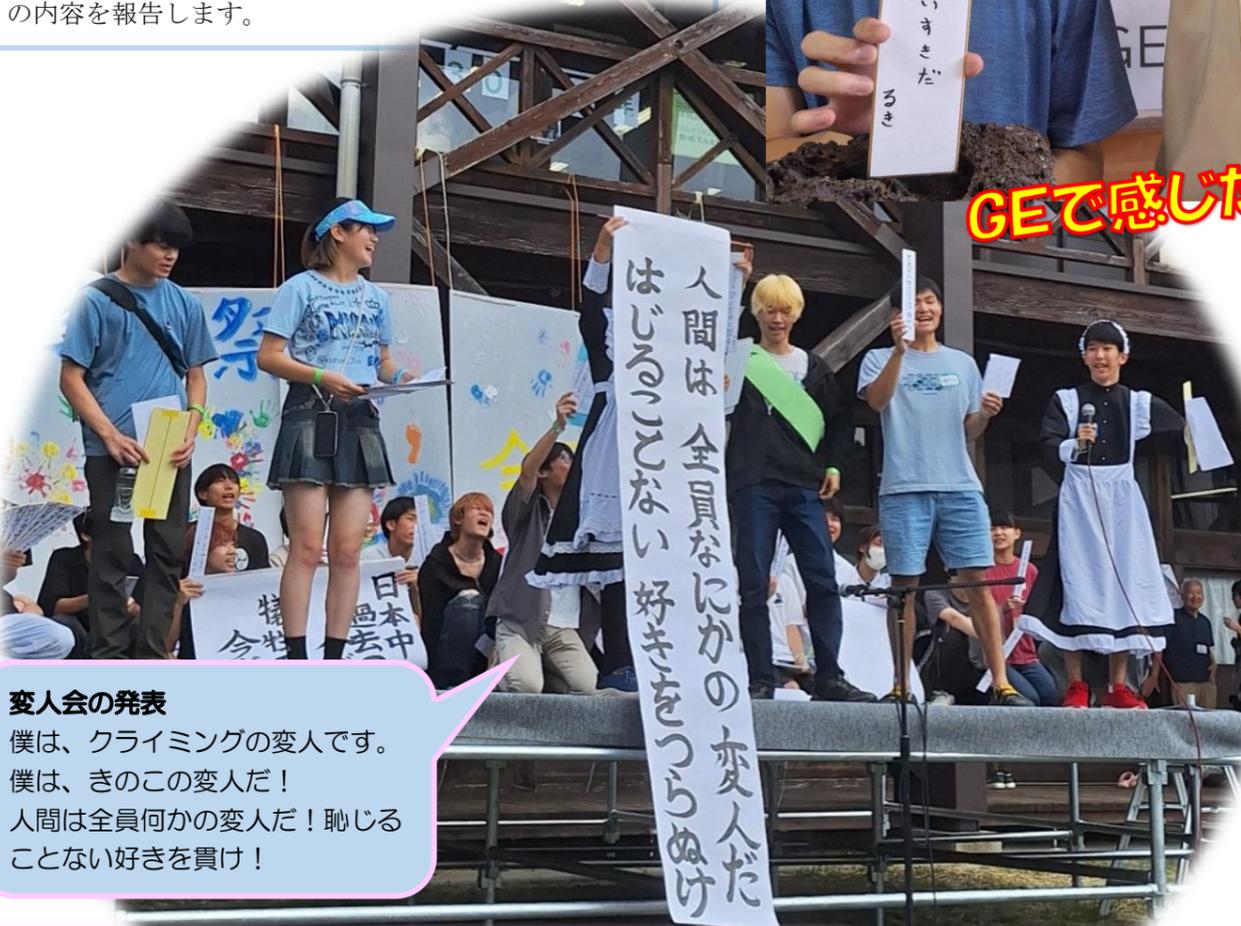
大自然の一部に



GEで感じた大切なこと、伝えたい!

蜂の羽音胸の鼓動と競い合おう
ななこ

私は、突然ハズメバチにたかられ、その時のドキドキと蜂の羽音を重ねてみました。結局、蜂は私のことを観察しただけで刺してきませんでした。互いに攻撃せず、共存することの大切さが身に染みしました。



変人会の発表

僕は、クライミングの変人です。
僕は、きのこの変人だ！
人間は全員何かの変人だ！恥じることない好きを貫け！

グレートアース「変人会」発足!

グループの川柳づくりにて・・・「変人会」が誕生！高校生たちにとって、今までは「変人」というとあまり良い印象がなかったようですが、グレートアースで学ぶ中で彼らの心は大きく変化していたのです。変人は何かに一生涯命になれる人のこと。熱意を持って、その物事に向かっていける人のことを意味しています。それは、生きるためのエネルギー源であり、時に新しい発見をしたり、人と違うものを見つけてくれたりします。そして、グレートアースの中ではそれらを共有し、楽しさや学びの中の気づきに繋がっています。

好きなことを貫くことは、時にわがままに見えたり、独りよがりに見えたりしますが、実はその内容は新たな世界の発見に繋がることのあるのです。人とちょっと違う視点や考えを持つのは勇気があることでもあります。でも、そんな自分のちょっと変なところが実はとても価値のあることだと、グレートアースでは伝えています。あなたのそのまが素晴らしいと伝えています。そんな中で学んでいたメンバーが発足したのが「変人会」でした。誰も心の中には人と違う、ちょっと「変」

があるのではないのでしょうか。それは悪いことではなく、実は大切にしたい個性であり、それを認め合いながら生きていきたい。

グレートアースの中ではそんな願いがあります。変人会の発足は他のチームも大喜び。学園祭の発表の順番を決める時には変人会の詩がグレートアースの魅力を一番わかりやすく伝えてくれている…ということで全員で話し合った結果、5グループの最後に発表することになりました。

学園祭当日の変人会発表後は、グレートアースを象徴する歌へと続いていきます。彼らは自分の「変」を自信を持って語りたい!と言って発表をしてくれました。自分自身の魅力に気づける機会になってくれたかなと思えました。「自分って結構、良いな」と思える心を持った時、大変な出来事に出会っても乗り越える力になると思います。「グレートアースの中では「変人会」の発足をキッカケに、大切なことを確認できる機会になったと思います。「変人会」最高のチームができたと思います。

命を食べる

僕たちは食べ物大好きチームです。この1学期は僕たちは畑で耕した畑に「おそま」を入れました。そしたら…な、な、なんと!大きくなっちゃったぜ!じゃがいも美味しすぎて、生きる〜!僕たちは、このような楽しい…から命の大切さについて考えることもしています。



食べろ!食べろ!食べろ!

「思い」チームの「重い」話し合い

このチームは「GEって大切な思いがたくさん詰まっているよね」ということで作られたチームです。他の3チームはチームが作られると早速「川柳」づくりにとりかかりましたが、このチームは違いました。「思い」ってチームだけど、「どんな思い?」「何を伝えたい?」と話し合いが始まります。話していくうちに、伝えたいことが絞られてきました。それが「命」についてです。

戦争・平和・環境などを学ぶ中でたくさんの命に触れてきたメンバー。そのことについて語りたくなったのです。しかし!それだけでは話し合いが終わりませんでした。「命」について何を語る?と続いたのです。GEでは沖縄戦、太平洋戦争、広島・長崎の原爆投下、アイヌ民族の歴史、リニア新幹線工事など社会と向き合い、命と向き合う学びを続けてきました。彼らはそこで、真摯に命に向き合ってきました。何があったのか、何故あったのか、どうしたら命が大切にされるのか…考える時間でした。

そんな学びを経て結成された「思い」チームでは、過去の命のあり方を学び、感じたことを未来に繋げていくというテーマで語りたいたい…となったのです。話し合いは続きます。

丁寧に話し合う時間は自分の思いを伝え、相手の思いを聞き、考える時間です。「自分はこう思ったよ」「あなたはどうか?」と話していきます。それは仲間と大切なことを見つけながら進んでいく時間です。話していくうちに新たな気づきを実感していくメンバー。「なるほど、そう感じたのか」「よし!こうしよう!」と川柳づくりは進みます。彼らは取組から話し合いの大切さ、自分や仲間の思いを大切にすることが、より良い道を見つけることに気づいていったのです。川柳づくりの道のりに紆余曲折あったからこそ、自治の大切さ、個や集団の大切さを感じられたのではないのでしょうか。それを証明するかのよう、後に作った個人の川柳にその内容を表現している生徒がいます。自分の思い、相手の思いに心を寄せています。「思い」チームに属していた生徒が個人で作った川柳も是非、お読みください。

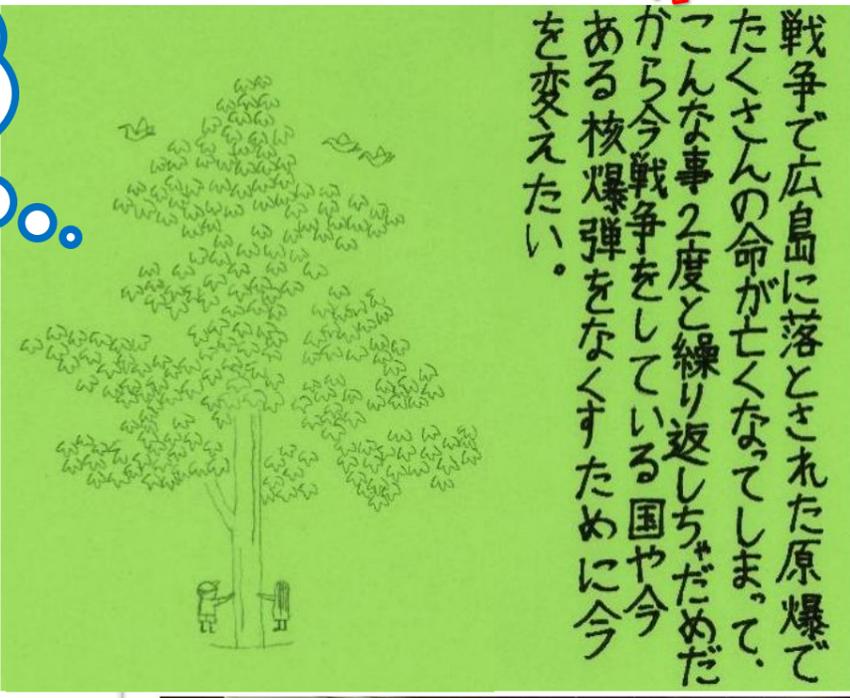


私たちのグループは**未来への思い**をテーマにしたグループです。グレートアースで学んだ自然の力や人の想いを未来に繋げていくのは私たちだという思いを込めてつくりました。学生のうちに経験できる時間は限られてるからこそ沢山の想いに出会って未来の自分たちを見つけて欲しいです。

個々の川柳も紹介

全ての命が大切にされる 未来のために

広島原爆で生き残り、命を紡いだアオギリの木に思いを込めて…



戦争で広島に落とされた原爆で、たくさん命が亡くなってしまっ、こんな事2度と繰り返しちゃだめだから今戦争をしてる国や今ある核爆弾をなくすために今を変えたい。

自然の問題や戦争のこぼれ、色々な意見が出てくる話し合い。その中で気づかされることあります。

かたりあい
人の意見に
耳をませ
ちがう意見に
胸をうたれる

ひとりひとりが大切にされる社会は、ひとりひとりの思いに心を寄せること。



人の想い無下にはしない 宝物

狐狼
我がらの詠みと
景色諸君
ハレの日に
過ちり
鳩を微笑む

人は過ちを犯し散って、
それをも鳩は何度も
微笑んでくれる
それは人が未来人であるために
平和を望む人達がいるから
祝いために 祝えるように
私たちが創ったこの言葉の詩が
景色と共に伝えられるように
もうこの世にない人のために
過ちは繰り返はせぬ

過去の過ち 繰り返さぬよう
今を変えていく

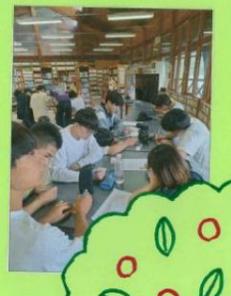
悲しみを知り、希望ある未来を目指し、決意を語ります。

自分とは違うことを認めあえる社会、それが本当の平和に繋がる。日々の学びからそれを感じる高校生たち。

伝えよう個性がいっぱいなかまたち

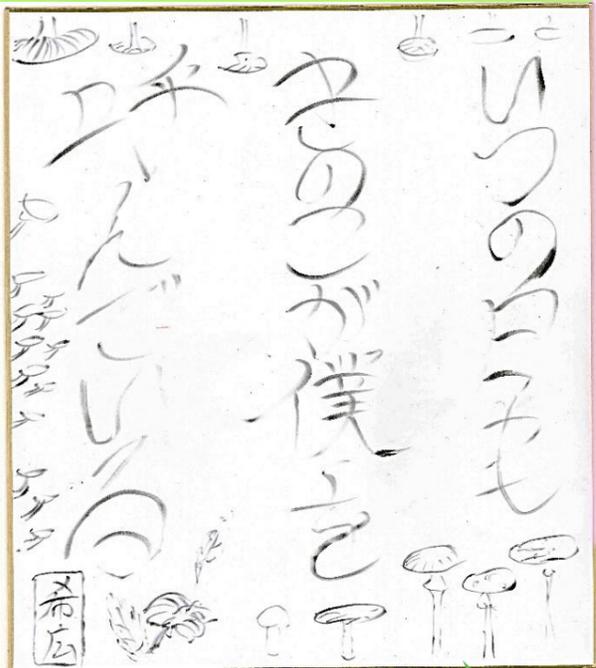
戦争とか人の想いに触れることが多くあって、人ノ人大切な考え、想いがあって行動して、だから全て無下にはせず、想いと向き合って生きていきたい。

戦争の話やウチガメの現状などを知ってみんないろんなことを感じてた。でもみんな感じることや思うところがちがったりして個性がある。思ったことをそのまま伝えるのはすごく大事だと思う。だから自分の気持ちを伝えるのは大変だけれど、ぼくにはぼくの個性があるとおもうから、がんばって伝えようと思う。



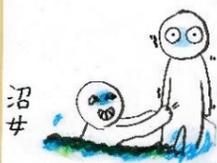
GEのメンバーが綴った思い、大公開!

僕は昔からキノコが好きだ!とくに好き理由はなにかだ? 考えてみると種類が多さ? かわいらしさ? 他にもキノコを食べたりしておいしさも気づいた!! おたのしみにも気づいてさらに好きなた。今僕とキノコは恋愛関係にありますwww



これが原点、自然が好き!

友達を
引きずりおとす
ぬまの中



沢登りや川遊びのときに友達を水に引きずりおとすのがとても楽しくて続けていたら沼の妖怪というあだ名ができた。みんなでおとしあう時間は先輩後輩のかべがうすくなた気がしてたのしい! GEだからできた体験だと思おう。

愛してる 自然と人間 グレートアース

自然を五感で感じる

かんー山 後ろの景色 今は好き

最初の ロッククライミングで後ろの景色が怖すぎて落ちてしまいました。それがトラウマになっちゃいました。だとは次にかんー山に行ったときに前に落ちたところをクリアできて、そこで後ろを向いたときの景色がとても思い出に残っていたので川柳にしました。

植茶 拓人

グレートアースの授業では、映像や書籍を用いて命や自然を学んだり、実際に体を動かし、山登りやロッククライミング、沢登りや川遊びを体験します。その体験や授業を通して感じた思いを作品にしました。

そつた

普段は大人しい私ですが、ハマグリの授業だけは、つい食い意地がはってしまう。飲めば分かる。必ずハマる。



くるみ

やってみたらそれこそいいきみのみち

独樹

未発見を拓くので周りの目もあって怖い時もあるけど、自分やそれを失いたくないなら満足やくまひ道を歩めばいいと思う。そう励みしてくれる人が



ことにはいる。

日常にロマンを感じ生活は豊かになつてく、心は晴れてく

ハマグリが変えてしまった一般人

くるみ

山たちもオレらと同じやむのかな

やましー

グレートアースは遊ぶことももちろんだ。大事。だけど、その遊んだことから得たものを皆に共有すること大事だ。俺は考える。色々なものを吸収して次に繋げる。

仲良くね心も一緒に共有だ

かつや

人間は経験しなきゃわからん

谷川 遼

生き方を考える

「人間は経験しなきゃわからん」これの意味は二つある。一つ目は、人は何事も経験することで学んだり、成長したりすること。二つ目は、過去の経験から学んだこと。知識として知っていても、地球を汚してしまったり、戦争を繰り返してしまったりして、失って初めてそれが間違っている気がくこと。僕は、この俳句を作ったとき、人間は自分の経験したことしか語れないんだなと思った。なので、この俳句を読んだ人は、知るだけで満足せず、実際に経験してみたい。

何もしない時遊んだ山 山は雨が止む以外に病むことあるのかな? やましー

自らの心と向き合う

今年度、黄柳野高校は30周年を迎えました。それを機に記念誌が発行されますが、そこにGEの学びについて寄稿しました。中身はGEの大切な学びを語っています。ダイナミックな遊びから始まり、命の学びへ繋がる。そして総合探究という毎週の積み重ねが高校生たちにとってどんな学びなのか、書かせていただきました、たくさんの方に読んでいただきたいので、ここに掲載いたします。是非、お読みください。

グレートアースの学びとは・・・ 語りたい！

グレートアース担当：池田さちえ

グレートアースが誕生して十一年目を迎える今年度。この場をかりてグレートアースの学びが高校生たちに何を残しているのか、書いておきたいと思えます。

十一年前の誕生から数年は年間数回の単発でダイナミックな活動が中心だったグレートアース。自らの感性を研ぎ澄まし、自然の中で遊び尽くし、五感全てで自然を感じる体験。それが最大のテーマでした。それは今でも一番大切にしていることです。

そこから数年経ち、五年前に総合探究という形で毎週四時間の継続した講座としてパワーアップしました。(単発も行って)

「心を育てる」

そこで一番大切にしていることは「心を育てる」こと。当然、自然の中で体験をすることは一番大切です。しかし心を育てるといえるのは、体験して終わりという状態では深まらないこともあります。そこを継続した講座として丁寧に行うことにしたのです。

「命の学び」

もう一つの軸は「命の学び」です。地球の生きる命に出会うこと、命に思いを寄せる時間を作っています。命とは自然の中で生きる命もそうであり、人の命についても学びます。社会情勢と向き合うこともそうです。戦争・平和・差別・文化を通して命と向き合います。これらの学びも現場に足を運ぶことを大切にしています。

「体験し、思いを深める」

そして体験し、学んだことを自らの心で反芻し、思いを巡らせる…この時間があることで自分が感じたことにどんな価値があるのか、大切にしたいことは何なのか、各々が気づくことが増えました。

「あの時、心が躍ったのはそういうことだったのか」

「あの体験の背景にはそんなことがあ

ったんだな…」など、事実や自分の思い、仲間の思いなど、気づきは様々です。彼らの気づく様子を見ると、共通して思うのは実体験から感じる重みです。

五感や自らの全てを使って体験してきたことは、頭の中で想像する以上の学びがあり、説得力があります。触った時の感触、食べた時の味、体感、聞こえる音…など自身が震えた経験は刻まれます。

人と会うということも同じです。相手の思いを直接聞き、その人の人間性に触れ、仲良しになったりする経験は現代のSNSなどでは味わえない温度があります。

「気づきへ」

そういった経験がある彼らの心は震え、想像する力がついてくるのです。一年生からグレートアースに参加し続け、前述したような経験をたくさんしている生徒がいました。最初は体験することで心がいっぱいだった生徒でしたが、活動中・事後など彼ら思ったことを語り合うことを大切にしてきました。最初は「なんて言ったらいいのかわからないなあ」とよく言っていました。しかし、一年ほど経ち、彼は思ったことを語るようになりました。「あの時、あんなことを感じた」「こう思った」など。そして友だちや出会った人の言動にも刺激され、新たな気づきを得ていました。

三年生になり、彼は八〇年前に失われた命について語ってくれました。

広島県の学びをした後です。

「燃える町 生ける思いも消えていく」と。

彼の解説は「町の草花も犬猫も生き物たちの命や思いが爆弾でできてしまう寂しさや命の儚さ・・・」人の命に限らず、全ての命に思いを寄せる詩を作ったのです。

見たことも、あったこともない命のこ

とを語っています。知らないけれど、それでも彼は八〇年前の世界や心に触れようとし、想像したので。

「想像し、思いを寄せる」

想像する力というのは自らの体験が素で軸になることが多々あると思います。彼の素はまさにグレートアースで体験したことであり、出会ったのです。

たくさんさんの素晴らしい自然と出会い、遊び、命と出会い、自らの全てでそれを感じてきた彼の心は、大切なものをみつけていたのです。彼の心は大きくそして深く育っているように思いました。

誰かに教えられたものでなく、見聞きしただけでなく、自分で掴んだものだから本当の意味で想像できるのです。喜び・感動・悲しみ・苦しみ・・・

「未来へ」

その力は未来を創るうえで重要な力だと思います。人の苦しみ悲しみ、喜び、楽しみを感じる力。物言わぬ命に思いを寄せる力。その力があれば、命を奪う未来は作らない。命が一番大切にされ、全うできる未来が作られると思うのです。グレートアースの学びは希望ある未来に向かうための原動力です。

なぜ私がそこまで語ってしまうのか・・・それは私自身も二五年前に黄柳野高校で野生生物と地球環境(グレートアース前活動)で学び、旅立ち、今に至り、未来を創っているからです。私自身もグレートアースの体現者だからです。

池田さちえ

二〇二五年十二月二日



町の草花も犬猫も
生き物達の命や思
いが一つの爆弾で消
えてしまう寂しさ
や命の儚さ……

燃える町 生ける思いも消えてゆく



編集後記(さ)
今号作成中に岐阜県瑞浪市大湫町を訪問しました。リニアトンネル工事で大切な井戸が涸れた地域です。そこで地域の方の温かさや思いに触れました。人の温度を感じる時間。一緒になって悲しんだり、笑ったりする時間。人の思い、命の重みは実際に肌で感じる毎に重みが増します。それがGEの学びです。この詳細は次号でお伝えします。

「グレートアースのインスタグラム」

活動や思いを紹介中です！是非お読みください！



@GREAT_EARTH_TSUGENO